



SAFETY DATA SHEET

安全データシート

1 製品名 ピュアサラファイン C

2 製造者情報

会社名 : 株式会社リアライズ
住所 : 〒107-0062 東京都港区南青山 2-22-4 708
電話番号 : 03-3470-8708 (FAX03-3470-8709)
作成(改訂) : 2024 年 5 月 30 日
整理番号 : 30012-08

3 危険有害性の要約

GHS 分類:

物理化学的危険性	金属腐食性化学品	区分 1
健康有害性	急性毒性(経口)	区分 4
	急性毒性(吸入粉塵・ミスト)	区分 4
	皮膚腐食性/刺激性	区分 1
	眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分 1
	呼吸器感作性	区分 1
	特定標的臓器毒性(単回曝露)	区分 1 (呼吸器系)
	特定標的臓器毒性(反復曝露)	区分 1 (呼吸器系、歯)
	誤えん有害性	区分 1
環境有害性	水生環境急性有害性・急性	区分 1

上記で記載がない危険有害性は区分に該当しないか分類できない。

GHS ラベル要素



注意喚起語

危険

危険有害性情報

金属腐食の恐れ

飲み込むと有害の恐れ

重篤な皮膚の薬傷

重篤な眼の損傷

吸入するとアレルギー・喘息又は呼吸困難を起こす恐れ

臓器の障害（呼吸器系）

水生生物に有害

4 物質の特定

単一成分・混合物の区別 : 単一製品

成分	含有率	官報公示番号	CAS No	国連分類
塩酸	5～10%	1-215	7647-01-0	クラス8

5 応急処置

眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。医師の処置を受ける。

皮膚に着いた場合 : 直ちに大量の水で洗い流す。

飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師の処置を受けること

6 火災時の処置

消火方法 : 内溶液は不燃性である。

消火剤 : 水または粉末消火剤を使用する。

7 漏洩時の措置

多量の水で希釈する。その後、希アルカリ（消石灰やソーダ灰等）で中和し、他の容器に出来るだけ回収する。拭き取った布は十分に水洗してから捨てる。

8 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 酸性製品なのでアルカリ性製品および金属との接触を避ける。
- 保管 : 直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。

9 暴露防止措置

- 管理濃度 : 未設定
- 許容濃度 : 塩化水素として 2ppm (日本産業衛生学会、ACGIH)
- 防止対策 : 保護眼鏡、ゴム手袋、保護衣を着用する。また、換気が十分でない場合は酸性ガス用防毒マスクなどの呼吸用保護具を着用のこと。

10 物理的及び化学的性質

- 外観 : 無色透明液体
- 比重 : 1.05 ± 0.05
- pH(1%) : 1.7 ± 0.5
- 凍結温度 : -15°C

11 安定性及び反応性

通常 of 取扱いにおいては安定。アルカリと接触すると反応して発熱する。塩素系酸化剤と反応し、有毒なガスを生成する恐れがある。

12 有害性情報

- 刺激性 : 皮膚、粘膜への刺激性が強い。

13 環境影響情報

酸性溶液のため中和処理が必要。

14 廃棄上の注意

廃棄する場合は産業廃棄物として廃棄する。

15 輸送上の注意

容器が破損したり、漏れないように注意して取り扱うこと。(国連番号1789)

16 適用法令

食品衛生法 第 10 条 食品衛生法施行規則第 12 条別表第 1 71 食品添加物

労働安全衛生法 特定化学物質第 3 類物質

労働安全衛生法 法第 57 条第 1 項名称を表示すべき危険物および有害物

法第 57 条第 2 項名称を通知すべき危険物および有害物

毒物劇物取締法 該当しない

消防法 非危険物

記載内容については、現時点で入手できる資料、情報およびデータに基づいて作成しておりますが、物理化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、記載内容は当該化学製品の一般的な取扱いについて記載したものです。従いまして、当該化学製品を取り扱う事業者は、個々の取扱い等の実情に応じた適切な処置を構ることが必要であることを理解した上で、この製品安全データシートを活用されるようお願いいたします。